

環境リモートセンシング研究センター教員定期評価調書

平成21年6月18日

| 氏名 | 職名 | 研究領域 | 専門分野 |
|--------|--|---------------------|-------------|
| 近藤 昭彦 | 教授 | リモートセンシング 複合研究領域 | 陸域リモートセンシング |
| 教 育 | <p>① 講義</p> <p>H16年度 「水循環論」(大学院自然科学研究科前期課程、2名で分担) 「水文環境動態学」(大学院自然科学研究科後期課程、2名で分担) 「環境計測学」(園芸学部、2名で分担) 「地球環境とリモートセンシング」(普遍科目、12名で分担) 「特別演習Ⅰ」「特別演習Ⅱ」「特別研究Ⅰ」「特別研究Ⅱ」(大学院自然科学)</p> <p>H17年度 「水循環論」(大学院自然科学研究科前期課程、2名で分担) 「水文環境動態学」(大学院自然科学研究科後期課程、2名で分担) 「環境計測学」(園芸学部、2名で分担) 「地球環境とリモートセンシング」(普遍科目、12名で分担) 「特別演習Ⅰ」「特別演習Ⅱ」「特別研究Ⅰ」「特別研究Ⅱ」(大学院自然科学)</p> <p>H18年度 「環境リモートセンシング特論」(大学院理学研究科、5名で分担) 「環境リモートセンシング IB」(大学院理学研究科、2名で分担) 「環境リモートセンシング IIB」(大学院理学研究科、2名で分担) 「災害と空間情報」(普遍コア科目、単独) 「地球環境とリモートセンシング」(普遍科目、12名で分担) 「特別演習Ⅰ」「特別演習Ⅱ」「特別研究Ⅰ」「特別研究Ⅱ」(大学院自然科学)</p> <p>H19年度 「環境リモートセンシング特論」(大学院理学研究科、5名で分担) 「環境リモートセンシング IB」(大学院理学研究科、2名で分担) 「環境リモートセンシング IIB」(大学院理学研究科、2名で分担) 「環境計測学」(園芸学部、2名で分担) 「災害と空間情報」(普遍コア科目、単独) 「地球環境とリモートセンシング」(普遍科目、12名で分担) 「特別演習」「特別研究」(大学院理学研究科)</p> <p>H20年度 「環境リモートセンシング特論」(大学院理学研究科、5名で分担) 「環境リモートセンシング IB」(大学院理学研究科、2名で分担) 「環境リモートセンシング IIB」(大学院理学研究科、2名で分担) 「リモートセンシング GIS 実習」(理学部、2名で分担) 「災害と空間情報」(普遍コア科目、単独) 「地球環境とリモートセンシング」(普遍科目、12名で分担) 「特別演習」「特別研究」(大学院理学研究科)</p> <p>② 主任として指導した学生数</p> <p>H16年度 博士後期：5名 博士前期：1名 学部：5名 研究生等：0名 計：11名 H17年度 博士後期：5名 博士前期：1名 学部：4名 研究生等：0名 計：10名 H18年度 博士後期：3名 博士前期：2名 学部：1名 研究生等：3名 計：9名 H19年度 博士後期：2名 博士前期：3名 学部：4名 研究生等：5名 計：14名 H20年度 博士後期：1名 博士前期：4名 学部：4名 研究生等：4名 計：13名</p> | | |

| | |
|----------------|---|
| <p>教 育</p> | <p>③ 学外での主な教育 H16年度～H20年度 敬愛大学経済学部「自然地理学」 通年4単位 H17年度～H19年度 千葉県教育研究センター主催「地図と衛星データからみた地球環境・地域環境講座」 県内初等・中等教育教諭対象 1日間×各年1回 H18年度 千葉県立船橋高等学校出前講義 1日間 H19年度 大学模擬講義 千葉県立八千代高等学校 1日間 (2コマ) H19年度 サイエンスパートナーシッププログラム 千葉県立船橋高等学校 3日間</p> |
| <p>研 究</p> | <p>(a) 研究成果 ① 審査付き論文数 H16:6 H17: 6 H18:5 H19:2 H20:7 合計:26 (論文情報は別紙) ② 審査なし論文数 H16:5 H17:0 H18:2 H19:0 H20:0 合計:7 ③ 国際学会論文数 H16:4 H17:7 H18:2 H19:2 H20:3 合計:18 ④ 国内学会論文数 H16:9 H17:9 H18:18 H19:12 H20:14 合計:62 ⑤ 著書数 H16:1 H17:0 H18:1 H19:0 H20: 1 合計:3 (著書情報は別紙) ⑥ 特許、その他 なし</p> <p>(b) 共同研究など ⑦ CEReS 共同利用研究件数 H16:6 H17: 6 H18: 6 H19: 6 H20: 4 合計:28 ⑧ CEReS 共同利用研究以外の主な共同研究・プロジェクト 国際共同研究 H16:1 H17: 1 H18: 1 H19: 1 H20: 1 合計:5 (中国科学院との中国の水問題に関する共同研究) 国内共同研究 H16:1 H17: 1 H18: 1 H19: 1 H20: 1 合計:5 (科研費分担等)</p> <p>⑨ 外部研究者利用のためのデータあるいはソフト等の公開 ・ WEBによる画像情報閲覧システムの構築による画像情報、主題図情報の公開</p> <p>(c) 主な外部研究資金獲得 (代表のみ)</p> <p>H15年度～H17年度 科学研究費補助金基盤研究(B)「中国華北平原の地下水循環機構の理解に基づく地下水保全戦略の構築」 金額 15,600千円</p> |

| | | | | |
|------|--|-------------------|-------------------|--------------------|
| 研究 | <p>H18 年度～H20 年度科学研究費補助金基盤研究（B）「比較水文学的手法による地域水文研究の総合化に関する研究」 金額 9,200 千円</p> | | | |
| その他 | <p>① 主な学外委員など H16 年度 日本リモートセンシング学会 評議委員 水文・水資源学会 理事 H17 年度 日本リモートセンシング学会 評議委員 水文・水資源学会 理事 H18 年度 日本リモートセンシング学会 評議委員 水文・水資源学会 理事 H19 年度 日本リモートセンシング学会 評議委員 水文・水資源学会 理事 H20 年度 日本リモートセンシング学会 評議委員 水文・水資源学会 理事 日本学術会議地球惑星科学委員会 IUGG 分科会 IAHS 小委員会委員 日本学術会議環境学委員会・地球惑星科学委員会 合同 IGBP・WCRP 合同分科会 GLP 小委員会委員</p> | | | |
| その他 | <p>② 主な学内、センター外委員など H18 年度 千葉大学中期計画対応部会委員 H19 年度 千葉大学中期計画対応部会委員 地球科学コース・環境リモートセンシング領域長 H20 年度 千葉大学中期計画対応部会委員 地球科学コース・環境リモートセンシング領域長</p> <p>③ センター内委員など（委員長のみ） H16 年度 計算機・データベース委員会 H17 年度 計算機・データベース委員会 H18 年度 計算機・データベース委員会 H19 年度 教育委員会 H20 年度 共同利用委員長</p> | | | |
| 特記事項 | <p>下記三項目はすべて重要な大学教員の任務であり、その比重割合は当該年度の状況によって大きく変わる。比重割合の数値に何を求めているか不明であるため、ありたいと思う理想的な数値を記入しておいた。</p> | | | |
| | 自己評価 | 教育への比重割合 3.333 | 研究への比重割合 3.333 | その他への比重割合 3.333 |

別紙

論文 (査読あり)

[H20 年度]

白木洋平・樋口篤志・近藤昭彦(2009) : 東京都周辺域における都市環境が降水に及ぼす影響. 環境科学会誌、第 22 巻、第 3 号、187-195.

Eleonora Runtunuwu, Akihiko Kondoh(2008) : Assessing Global Climate Variability under Coldest and Warmest Periods at Different Latitudinal Regions. Indonesian Journal of Agricultural Science, 9(11), 7-18.

上原恵・鈴木力英・近藤昭彦(2008) : 冬の季節風吹き出し時における GPS 可降水量の日本海側と太平洋側のコントラスト. 天気、55(7)、581-589.

Ahmad Al-Hanbali and Akihiko Kondoh(2008) :Groundwater vulnerability assessment and evaluation of human activity impact (HAI) within the Dead Sea groundwater basin, Jordan. Hydrogeology Journal, DOI 10.1007/s10040-008-0280-7.

Fadong Li, Xinfabg Song, Changyuan Tang, Akihiko Kondoh, Wanjun Zhang(2008) : Stable isotopic charavterisation of precipitation, soil water and groundwater in Tanhang Mountain, north China. IAHS Publ., 319, 83-90.

Dilnur Aji, Akihiko Kondoh, Changyuan Tang(2008) :Analysis of hydrological changes of lakes and rivers in XinJiang using GIS techniques and remote sensing data. IAHS Publ., 319, 175-183.

酒井秀孝・鈴木力英・近藤昭彦(2008) :衛星データによる近年の東シベリアにおける植生変化のシグナル抽出. 水文・水資源学会誌、21(1)、50-56.

山中勤・田中正・辻村真貴・大倉博・清水英幸・吉谷純一・嶋田純・開発一郎・近藤昭彦(2008). 国際高等教育協力における水問題・環境問題の認知構造 : 数量化Ⅲ類による知的リソース・ニーズマッピング. 水文・水資源学会誌、21(1)、39-49.

[H19 年度]

Aji K., Tang C., Song X., Kondoh A., Sakura Y., Yu J. and Kaneko S. (2007) : Characteristics of chemistry and stable isotopes in groundwater of Chaobai and Yongding River basin, North China Plain. Hydrological Processes. 22(1), 63-72.

白木洋平・近藤昭彦・一ノ瀬俊明(2007) : GIS とリモートセンシングを用いた地表面構造が都市の温度形成に及ぼす影響評価. 環境科学会誌、20(5)、347-358.

[H18 年度]

増田佳孝・春山成子・近藤昭彦・室岡瑞恵(2006) : 正規化植生指標 (NDVI) を用いたアムール川流域の土地被覆変化の把握. 農村計画学会誌、25、245-250.

- Ahmad AL-HANBALI, Hussam AL-BILBISI, Akihiko, KONDOH(2006): Monitoring the Dead Sea Area Changes Using Remote Sensing and GIS. *Journal of Japan Society of Hydrology & Water Resources*, 19(6), 483-490.
- Tang, C., Chen, J., Kondoh, A., and Lu, Y. (2006): Characteristics of soil water movements and water table at the Leizhou Peninsula, Guangdong Province, China. *Advances in Geosciences*, 4, 219-227.
- Aji, K., Tang, C., Kondoh, A., and Song, X. (2006): Environmental Isotopes of Precipitation, groundwater and surface water in Yanshan Mountain, China. *Advances in Geosciences*, 4, 11-16.
- デリヌル アジ・近藤昭彦(2006) : GIS を用いた新疆における水資源の動態変化に関する研究. *水文・水資源学会誌*, 19(4)、280-291.
- [H17 年度]
- 原田一平、近藤昭彦(2005) : TMの熱赤外データと AMeDAS の気温データを利用した東京圏のヒートアイランドの広域化の解析. *地学雑誌*, 114(5)、705-723.
- 山北剛久、仲岡雅裕、近藤昭彦、石井光廣、庄司泰雅(2005) : 東京湾富津干潟における海草藻場の長期空間動態. *保全生態学研究*, 10、129-138.
- 近藤昭彦・鈴木力英(2005) : ユーラシア大陸北部の積雪域マッピングと積雪域の年々変動. *水文・水資源学会誌*, 18(6)、696-703.
- 近藤昭彦(2005) : リモートセンシングと地理情報を用いた災害ポテンシャルの判読. *日本水文科学会誌*, 35(3)、111-117.
- 金子紫延・近藤昭彦・沈彦俊・唐常源(2005) : 中国華北平原における水循環・食糧生産・人間活動の関連性. *水文・水資源学会誌*, 18(5)、575-583.
- 近藤昭彦・開発一郎・平田昌弘・アザヤドルゴスレン(2005) : モンゴル草本植物のフェノロジーとバイオマスの年々変動. *沙漠研究*, 14(4)、209-218.
- [H16 年度]
- Akihiko Kondoh, Agung Budi Harto, Runtunuwu Eleonora, and Toshiharu Kojiri(2004): Hydrological regions in monsoon Asia. *Hydrological Processes*, 18, 3147-3158.
- Jianyao Chen, Changyuan Tang, Yasuo Sakura, Akihiko Kondoh, Jingjie Yu, Jun Shimada and Tadashi Tanaka(2004): Spatial geochemical and isotopic characteristics associated with groundwater flow in the North China Plain. *Hydrological Processes*, 18, 3133-3146.
- 近藤昭彦(2004) : グローバルリモートセンシングによる植生・土地被覆変動の抽出とその要因解析. *水文・水資源学会誌*, 17(5)、459-467.
- J. Y. Chen, C. Y. Tang, Y. Sakura, A. Kondoh, Y. J. Shen and X. F. Song(2004): Measurement and analysis of the redistribution of soil moisture and solutes in a maize field in the lower

reaches of the Yellow River. Hydrological Processes, 18, 2263-2273.

Yanjun Shen, Yongqiang Zhang, Akihiko Kondoh, Changyuan Tang, Jianyao Chen, Jieying Xiao, Yasuo Sakura, Changming Liu and Hongyong Sun(2004): Seasonal variation of energy partitioning in irrigated lands, Hydrological Processes, 18, 2223-2234.

Yongqiang Zhang, Changming Liu, Qiang Yu, Yanjun Shen, Eloise Kendy, Akihiko Kondoh, Changyuan Tang and Hongyong Sun(2004): Energy fluxes and the Priestley-Taylor parameter over winter wheat and maize in the North China Plain, Hydrological Processes, 18, 2235-2246.

著書

近藤昭彦(2009):「水循環とGIS」の分担執筆、柴崎亮介・村山祐司編「社会基盤・環境のためのGIS」、朝倉書店、184pp.

近藤昭彦(2009):項目「断流」「内陸運河」「内陸河川」「ポロロッカ」の分担執筆、高橋裕ほか編「川の百科事典」、丸善、810pp.

近藤昭彦(2007):項目「リモートセンシング」の分担執筆、嘉門雅史・日下部治・西垣誠編「地盤環境工学ハンドブック」、朝倉書店、568pp.

近藤昭彦(2005):宇宙から地図を作る、菊地俊夫・岩田修二編著「地図を学ぶー地図の読み方・作り方・考え方ー」、二宮書店、165-174.

特許、その他

なし
